

車両補助金の手引き

貸切バス等を利用した遠足を検討されている
子ども会はぜひ利用してみてください

豊田市地域子ども会活動における車両補助金を利用する際の留意点について掲載してあります。

※車両補助金は、利用を希望する子ども会のみ申請が必要です。

目次

- 車両補助金とは（2ページ）
- 車両補助金の交付額（2ページ）
- 申請から実績報告までのイメージ（2ページ）
- 年度途中の申請（2ページ）
- 申請の取下げ（2ページ）
- 対象施設について（3ページ）
- 申請・申込に必要な書類等（3ページ）
- 申請の留意点（4ページ）
- 活動中止・変更による補助金返還について（4ページ）

車両補助金を利用して体験活動をした子ども会の様子

施設の人がやり方を教えてくれて、あとは子どもたちが協力して五平餅を作った

<双美子ども会（子ども39人参加）>

○行程：桑原公園出発→**どんぐり工房**→大野瀬川→
→どんぐり道の駅→桑原公園到着・解散

○予算
 バス代 32,000 円(25,000 円車両補助金、残りは会費)
 体験料 58,500 円(一人あたり 1,500 円)
 計 90,500 円



地域の人が教えてくれる！



「子ども達に普段なかなか行けない地域で体験活動をさせたい！」と考え、「おいでん・さんそんセンター」に相談しました。当日は、午前10時に出発しどんぐり工房で五平餅づくり、その後おいでん・さんそんセンターで紹介された大野瀬川での川遊びやとうもろこしのもぎ取り体験をしました。

写真：(上)五平餅づくり体験、(下)川遊び体験

■車両補助金とは

豊田市は、子ども会が市内公共施設で行う活発な体験活動をサポートするため、子ども会活動の交通費に対する補助制度を用意しています。市内の対象施設での活動で使用するバス、レンタカーなどの借上げ費用に対し補助金を交付します。

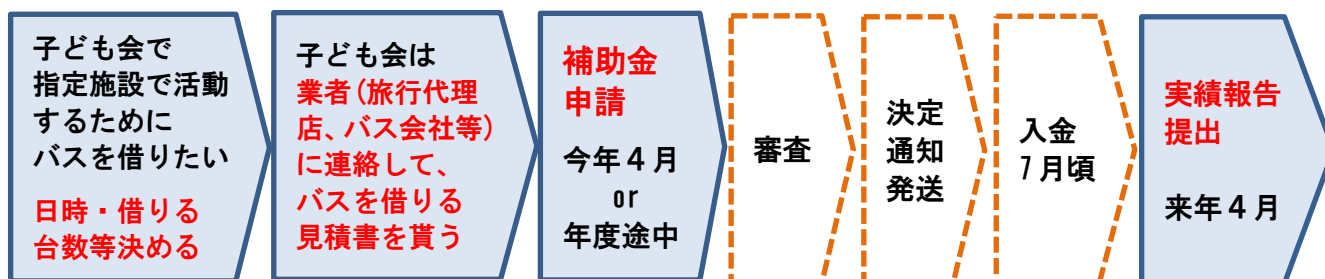
■車両補助金の交付額

バス、レンタカー等借上げ料金の80% 複数台数可（上限：50,000円）

車両負担例（イメージ）



■申請から実績報告までのイメージ



■年度途中の申請

◆年度途中に車両補助金を申請する場合

- ・市の予算の範囲内で随時先着受付です。
- ・車両補助金の利用が決まった時点で、一度市次世代育成課（電話 34-6630）にご連絡ください。
- ・年度途中用の様式で申請してください。様式は次世代育成課から送付します。

■申請の取下げ

◆4月申請した分を、取下げる場合

- ・申請を取下げる場合は、市次世代育成課（電話 34-6630）にご連絡ください

（参考）総合野外センター利用当選による車両補助金の申請取下げについて

“総合野外センターの利用に当選した”などの理由で、車両補助金での事業をやめる（申請を取下げる）場合には5月31日（金）までに市次世代育成課（電話：34-6630）に連絡してください。

参考：31年度総合野外センター申込開始日（抽選日）

総合野外センター利用月	申込開始日（抽選日）	抽選場所
4月～6月	1月27日（日）：終了	—
7月～10月	4月28日（日）	総合野外センター
11月～翌年3月	8月25日（日）	総合野外センター

【車両補助金に関する連絡・問合せ】 市次世代育成課 電話：34-6630

【総合野外センターに関する問合せ】 総合野外センター 電話：58-1388

■対象施設について

市内指定施設は別紙一覧のとおり。掲載施設以外で活動を希望される場合は、市次世代育成課にご相談ください。(市次世代育成課 電話：34-6630)

おいでん・さんそんセンターとは？

おいでん・さんそんセンターとは都市と農山村の交流をコーディネートする豊田市の取組です。交流に関する市民等からの相談、問合せ、受付、取次ぎなど、交流・連携のコーディネートを行います。



要望を伝えてみよう！例えば…

農業体験	○稲刈りをさせたい。
林業体験	○巻枯らし間伐をさせたい。
食の体験	○有機野菜を味わいたい。
自然体験	○マス釣り体験をさせたい。
ものづくり体験	○手づくり食器をつくりたい。

【おいでん・さんそんセンターに関する問合せ】

電話：0565-62-0610

FAX：0565-62-0614

Mail：sanson-center@city.toyota.aichi.jp

住所：豊田市足助町宮ノ後26-2（豊田市役所足助支所2階）

■申請・申込に必要な書類等

※各種様式は、青少年センターHPからダウンロードが可能

- ・4月に申請の場合 【申込み多数の場合は抽選（1団体につき年度内1回を限度、複数台数可）】

必要書類	作成する人	提出方法
書類④～⑦、⑪	新会長	活動費補助金と合算で申請してください
見積書	業者(旅行代理店、バス会社等)	各子ども会は校区理事が指示する日までに書類を校区理事にご提出ください

- ・申請【5月以降年度途中申請の場合】【予算の範囲内で先着順。申請前に市次世代育成課へご相談ください】

必要書類	作成する人	提出方法
補助金申請書	新会長	市次世代育成課へ相談後、車両補助金専用の様式で
請求書	新会長	申請してください
見積書	業者(旅行代理店、バス会社等)	開催する <u>1か月前までに</u> 書類を市次世代育成課へご提出ください

- ・実績報告

必要書類	作成する方	提出方法
実績報告書	新会長	活動費補助金と合算で実績報告してください
領収書	業者(旅行代理店、バス会社等)	※平成32年(2020年)3月頃、提出方法についてご案内します

* 車両補助金実績報告は、活動費補助金の実績報告と一緒にご提出ください

■車両補助金申請の留意点

- ・補助金の申請を提出する際には、必ず業者（旅行代理店、バス会社等）に見積書の作成を依頼してください。
- ・市ではバス会社等の斡旋はしていません。各子ども会で車両を借りる手配をしてください。
- ・バスを複数台数借りた場合でも、補助率は料金の8割（上限5万円）を補助します。

（例）バス2台を借りた場合

バス単価 32,500 円×2 台 = 65,000 円

バス 2 台分の代金 65,000 円×補助率 80%で、

補助金は上限 50,000 円のため、50,000 円を補助金申請

- ・大人の付き添い人数は、子どもの補助のために必要最低限の人数にしてください。
- ・市内の体験活動を対象にしています。市外での活動は対象外。
- ・公共交通機関の料金は車両補助金の対象外です。おいでんバス運賃も対象外です。
- ・車両補助金は、バス、レンタカーなどの借上げ費用に対する補助金です。活動費（入館料、施設使用料等）は、活動費補助金でご申請ください。
- ・車両補助金の補助率を超えた分の料金は、活動費補助金の補助対象経費に含むことはできません。

■活動中止・変更による補助金返還について

- ・活動が中止（変更）の場合、速やかに次世代育成課へご連絡ください。補助金の返還が必要です。返還は翌年4月に実績報告を提出後、市次世代育成課が返還手続きの書類を郵送します。
- ・キャンセル料は補助金の対象外です。
- ・見積書金額（使用前）と比べ、領収書金額（使用后）が少ない場合、補助金を返還していただく可能性があります。市次世代育成課までご連絡ください。

下記の場合、市次世代育成課へご相談ください（TEL34-6630）。

- ・夏休み前等、早期に活動を行う場合。（まとまったお金がすぐ必要な場合）
- ・有料道路の使用料や駐車料金等が生じた場合。（補助対象経費となるか判断します）
- ・複数の子ども会により合同でバスを借りる場合。（申請の方法についてアドバイスします）